

テーマ 在宅歯科診療ならびに摂食・嚥下機能支援研修会

申請者 小林歯科医院 小林顕

助成対象年度 2013 年度前期

平成 26 年 9 月 1 日

国の施策として地域包括ケアの推進が求められている昨今、地域での歯科保健を担う開業医たちにとってはこれに協力すべく自己研鑽が常に必要とされている。

またこれを実現するためには多職種協働というキーワードだけでは捉えきれない概念的なものにとどまらない専門的な知識を背景とした参加が求められている。

しかし、現状ではどの地域においても必要とされる十分な人材が存在せず、取り組みが機能しているとは言いがたい。

その理由として歯科開業医においては自分の診療室に来ることができる患者さんが全てであり、何らかの原因で通院困難になっている方を取り巻く環境を想起することができないためである。

このような現状を打破するために、摂食・嚥下困難という疾患別に診るのではない、困難な状況から紐解いていくためのアプローチが行われているがその本質を離れて、嚥下評価などの瑣末なテクニックに終始している者がいることもまた事実である。

それではどのようにして在宅療養者のことを慮って行動できる歯科医師を増やすことができるだろうか？

秋山正子先生の言葉に「これからは読み書きそろばんでは無く、読み書き介護が求められていきます。」というものがありました。

確かにそうだよなあとは常々思っていましたが、現在 50 代後半から 60 歳くらいの開業医の先生方が自分のお身内の介護が始まったことを契機に様々なことに直面し考えを新たにすることを多く見るうちに早い段階での経験が必要だと思えるようになりました。

そこで本研修会の目的を、自分の知らない他職種が考えていること、地域にはどのような人的資源があるかを確認するとしました。

講演会の会を重ねるに伴って、他職種の参加が増え、顔見知りになる方、個別に相談をしよう方が講演会の外でも行われるようになりました。

また、介護食メーカーの商品紹介、試食など、特に歯科医師の方たちはそのような商品に触れたことが無いため興味津々でした。

平成 25 年 4 月 26 日

皆 様

東京歯科大学同窓会板橋支部
支 部 長 須田 希
水橋会担当 吉野 諭

平成 25 年度第 1 回水橋会のお知らせ

新緑の季節となりましたが、皆様ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度の水橋会は、在宅歯科診療に着目して開催いたします。第 1 回を下記のように計画いたしましたので、ご参集くださいますようご案内申し上げます。

なお、テーマの趣旨から、スタッフやご友人、在宅療養に係る他職種の方々にもお声掛けいただいて差支えございません。当日、直接に会場にお越しくくださるようお伝えください。

記

第 1 回「在宅歯科診療ならびに摂食嚥下機能支援研修会」
～プロローグ（通院困難な方への歯科的支援について）～

平成 25 年 5 月 17 日（金）午後 8 時
板橋区歯科医師会館 3 階ホール

○参加料

医師・歯科医師 2,000 円
その他 200 円

○演題と演者（予定）

1. 「医師の立場から見た在宅療養患者に対する歯科的支援の必要性について」
演者未定
2. 「摂食支援について」
板橋区歯科医師会会員 澁谷英介
3. 「私の訪問歯科診療」
板橋区歯科医師会会員 小林 顕

以上

平成 25 年 6 月 25 日

皆 様

東京歯科大学同窓会板橋支部
支 部 長 須田 希
水橋会担当 吉野 諭

平成 25 年度第 2 回水橋会のお知らせ

今年度の水橋会は、在宅歯科診療に着目して開催いたします。第 2 回を下記のように計画いたしましたので、ご参集くださいますようお願い申し上げます。

なお、テーマの趣旨から、スタッフやご友人、在宅療養に係る他職種の方々にもお声掛けいただいて差支えございません。当日、直接に会場にお越しくださるようお願いいたします。

記

第 2 回「在宅歯科診療ならびに摂食嚥下機能支援研修会」

平成 25 年 8 月 2 日（金）午後 8 時
板橋区歯科医師会館 3 階ホール

○参加費

医師・歯科医師	2,000 円
その他	200 円

○プログラム

1. 「在宅訪問診療の実際と問題点」

板橋区高島平開業 医師 佐藤 恵

2. 「歯科診療時の注意点 体位の保持、移乗の方法について」

板橋区歯科医師会会員 澁谷英介

3. ディスカッション

以上

平成 25 年 9 月 ● 日

皆 様

東京歯科大学同窓会板橋支部
支 部 長 須 田 希
水橋会担当 吉野 諭

平成 25 年度第 3 回水橋会のお知らせ

今年度の水橋会は、在宅歯科診療に着目して開催いたします。第 3 回を下記のように計画いたしましたので、ご参集くださいますようお願い申し上げます。

なお、テーマの趣旨から、スタッフやご友人、在宅療養に係る他職種の方々にもお声掛けいただいて差支えございません。当日、直接に会場にお越しくださるようお願いください。

記

第 3 回「在宅歯科診療ならびに摂食嚥下機能支援研修会」

平成 25 年 10 月 16 日（水）午後 8 時
板橋区歯科医師会館 3 階ホール

○参加費

医師・歯科医師 2,000 円
その他 200 円

○プログラム

1. 「(仮) 私の在宅訪問診療」
東京都東大和市開業 大川延也 先生
2. 懇談

以上

(プロフィール)

昭和 52 年 東京歯科大学 卒業
同大学 補綴学第 3 講座 (局部義歯) 入局
昭和 58 年 現在地 東京都東大和市にて開業 (東京都東大和市歯科医師会会員)

在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 理事
全国訪問歯科研究会(加藤塾)所属

横浜市 加藤武彦先生に師事、訪問歯科治療を学ぶ

茅ヶ崎市 黒岩恭子先生に師事、口腔ケア・リハビリを学ぶ

(著書)

- ・「口腔ケアの効果」クリニカルプラクティス Vol.26 No2、2007
- ・在宅歯科診療における短期弾性裏装材「ティッシュケア」の臨床応用：デンタルダイヤモンド 第 33 巻第 1 号・2008 1 月号
- ・医療連携による在宅歯科医療：在宅歯科医療での義歯への対応と問題点、日本歯科評論別冊 124-131,2008
- ・今日からできる口腔ケア：デンタルダイヤモンド 第 34 巻 第 1 号 (1 月号) ～第 7 号 (5 月号) 連載、2009
- ・訪問歯科診療の実際：口から食べるから元気になる、日本歯科産業学会誌 第 23 号 第 2 号 3～9 頁
- ・総義歯難症例への対応 その理論と実際：在宅訪問現場での義歯治療、177-185,2009
- ・“口から食べる”を支えるー在宅でみる摂食・嚥下障害、口腔ケアー 歯科医師の役割：140—143,2010
- ・難病と在宅ケア：訪問口腔ケアの実際ーALS 在宅療養者の場合ー、15-18, 2010, 7 月号, VOL.16, NO.4
- ・歯科学報：たくさんの在宅療養者がわれわれ歯科医を待っている、第 111 巻第 5 号 457～461 頁 (平成 23 年 10 月) Vol.111、No5 (2011)

平成 25 年 11 月 11 日

皆 様

東京歯科大学同窓会板橋支部
支 部 長 須田 希
水橋会担当 吉野 諭

平成 25 年度第 4 回水橋会のお知らせ

今年度の水橋会は、在宅歯科診療に着目して開催いたします。第 4 回を下記のように計画いたしましたので、ご参集くださいますようご案内申し上げます。

なお、テーマの趣旨から、スタッフやご友人、在宅療養に係る他職種の方々にもお声掛けいただいで差支えございません。当日、直接に会場にお越しくださるようお伝えください。

記

第 4 回「在宅歯科診療ならびに摂食嚥下機能支援研修会」

平成 25 年 12 月 11 日（水）午後 8 時
板橋区歯科医師会館 3 階ホール

○参加費

医師・歯科医師	2,000 円
その他	200 円

○プログラム

○プログラム

1. 「認知症の口を支える基礎知識」

東京都健康長寿医療センター研究所 専門副部長 平野浩彦先生

2. 懇談

以上

平成 25 年 1 2 月 2 8 日

皆 様

東京歯科大学同窓会板橋支部
支 部 長 須田 希
水橋会担当 吉野 諭

(平成 26 年度第 1 回水橋会)
第 5 回「在宅歯科診療ならびに摂食嚥下機能支援研修会」
のお知らせ

平成 26 年度第 1 回水橋会を下記のように計画いたしましたので、ご参集
くださいますようご案内申し上げます。

なお、テーマの趣旨から、スタッフやご友人、在宅療養に係る他職種の方々
にもお声掛けいただいて差支えございません。当日、直接に会場にお越し
くださるようお伝えください。

記

第 5 回「在宅歯科診療ならびに摂食嚥下機能支援研修会」

平成 2 6 年 3 月 2 0 日 (木) 午後 8 時
板橋区歯科医師会館 3 階ホール

○参加費

医師・歯科医師 2,000 円
その他 200 円

○プログラム

1. (仮)「食べるを支え、生活を彩る摂食機能」
日本大学歯学部 摂食機能療法学講座 教授 植田耕一郎先生
2. 懇談

以上

平成26年4月3日

皆 様

東京歯科大学同窓会板橋支部
支 部 長 須田 希
水橋会担当 吉野 諭

(平成26年度第2回水橋会)
第6回「在宅歯科診療ならびに摂食嚥下機能支援研修会」
のお知らせ

平成26年度第2回水橋会を下記のように計画いたしましたので、ご参集
くださいますようご案内申し上げます。

なお、テーマの趣旨から、スタッフやご友人、在宅療養に係る他職種の方々
にもお声掛けいただいて差支えございません。当日、直接に会場にお越し
くださるようお伝えください。

記

第6回「在宅歯科診療ならびに摂食嚥下機能支援研修会」
(公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による)

平成26年4月30日(木) 午後8時
板橋区歯科医師会館3階ホール

○参加費

医師・歯科医師 2,000円
その他 200円

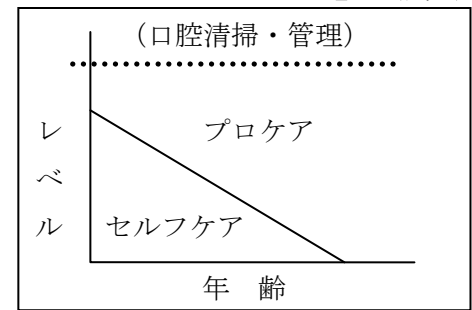
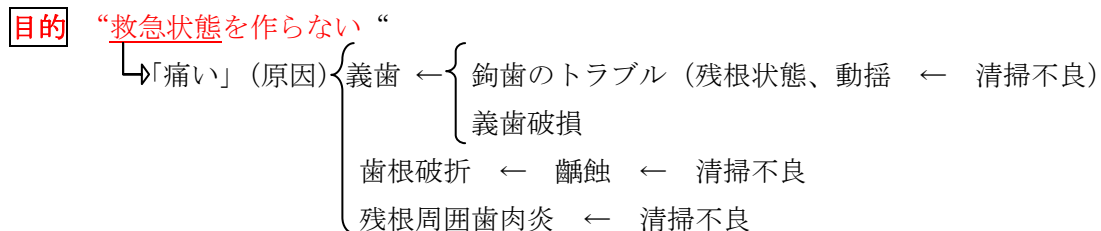
○プログラム

1. (仮) 事例報告
介護職 および 歯科衛生士 ほか
2. ディスカッション
「(仮) 在宅医療・介護領域における歯科のポジション」

以上

(2014.4.30.第6回) 「(ディスカッション) 在宅医療・介護領域における歯科のポジション」 (案)

次第に機能低下 → { 次第に自己管理困難 (セルフケア)
 次第に専門家によるケアを要する (プロケア)



方法 何らかの形で定期的に関わる = **口腔清掃** : 同時に 誤嚥対策・口腔乾燥対策として **マッサージ** (間接訓練)
 → 本人にとって: “気持ち良い” 介護者にとって: 良い介護環境の維持

月1~2回

SPT、P処置、etc.

※特殊な対応: { 咀嚼機能の回復、自浄性の向上 = 補綴 (含、舌接触補助装置、顎補綴)、修復
 飲み込み障害 = 摂食・嚥下機能の直接訓練、食事指導

※for the client, for the family, for the staff = 「連携の情報発信元になり得る」ということ

結果として 栄養状態の改善、ADLの改善、QOLの向上、人としての尊厳の維持、その人らしい人生、満足感・幸福感

認知症 口腔清掃 = セルフケア+プロケア
 早い段階での治療 特に、抜歯、義歯など、療養上の自己管理を要する分野
 摂食支援 環境、用具、食事前の間接訓練 (どこかで打ち切り)

咀嚼・嚥下に関する機能障害のない要介護者 (口腔・咽頭部以外のがん、老人性体力低下、障がい者、など)
 口腔清掃 (= セルフケア+プロケア) を行いながら、変化に対応する。

咀嚼・嚥下に関する機能障害のある要介護者 (口腔・咽頭部の実質欠損、脳梗塞後遺症による麻痺、など)
 口腔清掃 = セルフケア+プロケア
 間接訓練
 直接訓練

平成26年5月19日

皆 様

東京歯科大学同窓会板橋支部
支 部 長 須田 希
水橋会担当 吉野 諭

(平成26年度第3回水橋会)
第7回「在宅歯科診療ならびに摂食嚥下機能支援研修会」
のお知らせ

平成26年度第3回水橋会を下記のように計画いたしましたので、ご参集
くださいますようご案内申し上げます。

なお、テーマの趣旨から、スタッフやご友人、在宅療養に係る他職種の方々
にもお声掛けいただいて差支えございません。当日、直接に会場にお越し
くださるようお伝えください。

記

第7回「在宅歯科診療ならびに摂食嚥下機能支援研修会」
(公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による)

平成26年6月30日(月) 午後8時
板橋区歯科医師会館3階ホール

○参加費

医師・歯科医師 2,000円
その他 200円

○プログラム

1. (仮)「私の訪問歯科診療 ～これから始める歯科医師へ～」
横浜市開業 田中五郎(たなか・いつろう) 先生
(東京歯科大学1988年卒、加藤武彦先生に師事)
2. ディスカッション

以上

臨床ノート

歯科往診に一步踏み出す為に

Steps toward successful home-visiting dental services



田中 五郎
Itsuro Tanaka

神奈川県横浜市 田中歯科医院
略歴 1988年東京歯科大学卒業, 加藤歯科医院勤務, 1990年田中歯科医院開業,
現在に至る。趣味: 釣り, ミュージカル鑑賞

キーワード: 歯科往診, 病診連携, 認知症, 口腔ケア, 口腔リハ
(2013年12月4日受付, 2014年1月30日受理, 歯科学報 114: 117-121, 2014.)

歯科往診に対する不安感

超高齢社会の現在, 歯科に対する施設や在宅への歯科往診の要請は, 増加の傾向にあると言われていきます。その一方で往診をする歯科医院の数は増加していないのも現状です。これについて多くの歯科医に聞いてみると, 歯科往診に対して高いハードルを感じていることが理由のようです。

第一には, 患者さんの全身状態に対する不安です。歯科往診を必要とする患者さんは, ほとんどが医科疾患を持っています。また, 来院可能なレベルの医科疾患の患者さんが歩行障害の為に通院できない場合も, それほど医科疾患が重篤では無いのに, 来院可能な患者さんと全く違う患者さんだと感じます。この時点で, 学生時代にこの教育を受けていない我々は, 何か特殊な技能が必要なのではないかと感じてしまいます。筆者も歯科往診を始めた頃は, この様な不安が多くありました。第二に, 歯科往診に必要な器具機材を揃えることに対する負担です。診療室と同じような環境を作ろうと思うと, また, それを全ていっぺんに揃えようと思うと, かなりの出費になるので, はじめから無理だと考えてしまうことが多いようです。第三に, 時間的な負担です。社会のニーズに応じて早朝から夜遅くまで診療している歯科医院も多く, 土, 日も診療している医院も

少なくありません。特に開業したばかりの若い先生方は, その傾向が大きい様に思われます。患者獲得や開業資金の返済など経済的な理由が大きいと思われれますが, その様な診療時間の中で, 歯科往診に向く時間を設けるのは大変な事だと思います。

この様に, 社会的な要請は充分理解出来ますし, 歯科往診を依頼され, 行ってあげたいと想っても, 現実には高いハードルが見えてしまい, 自分には無理だと, その一歩が踏み出せない歯科医が多いように思われます。

筆者は, 昭和63年に東京歯科大学を卒業し, すぐに在宅往診のパイオニアである加藤武彦先生の元で研修をさせていただいた為, 歯科往診は歯科医療の一つであり「来られなくなった患者さんにはこちらから伺って差し上げる」と教えられていたので, 加藤歯科医院を卒業後, 自院を開業した平成2年から, 歯科往診をはじめました。しかし, 卒後2年, 診療室の診療も, つたない状況でしたので, 往診先で義歯を治しても, すぐには良い結果が得られないという経験をし, また, 全身状態の把握が出来るような知識も無かったので, 同様の不安を感じながら歯科往診を行っていました。

平成26年7月29日

皆 様

東京歯科大学同窓会板橋支部
支 部 長 須田 希
水橋会担当 吉野 諭

(平成26年度第4回水橋会)

第8回「在宅歯科診療ならびに摂食嚥下機能支援研修会」のお知らせ

平成26年度第4回水橋会を下記のように計画いたしましたので、ご参集くださいますようご案内申し上げます。

なお、スタッフやご友人、在宅療養に係る他職種の方々にもお声掛けいただいて差支えございません。当日、直接に会場にお越しくださるようお伝えください。

記

第8回「在宅歯科診療ならびに摂食嚥下機能支援研修会」

(公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による)

平成26年8月25日(月) 午後8時

板橋区歯科医師会館3階ホール

○参加費

医師・歯科医師 2,000円

その他 200円

○プログラム

1. 「認知症高齢者に【M パタカラ】を用いて機能的口腔ケアを行った症例」
けやき台歯科クリニック勤務・所沢市歯科診療所あおぞら非常勤勤務
在宅療養指導認定歯科衛生士、認知症ケア専門士 武藤 久子
2. 「在宅歯科医療ならびに摂食・嚥下機能支援における、歯科衛生士の卒前教育の現状」
東京歯科衛生専門学校専任教員・歯科衛生士 下田 哲子
3. 「区内病院との連携による地域での摂食嚥下リハビリテーション推進」
東京歯科大学 摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科科長
准教授 石田 瞭

以上

(公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による)

「在宅歯科診療ならびに摂食嚥下機能支援研修会」アンケートをお願いします。

(1) 職種は？ (該当するところに○をつけてください。)

歯科医師 歯科衛生士 歯科助手 歯科技工士 医師 看護師 薬剤師
ケアマネージャー 介護福祉士 ヘルパー その他 ()

(2) 年齢は？ (該当するところに○をつけてください。)

19歳以下 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代 80歳以上

(3) 性別は？ (該当するところに○をつけてください。)

男性 女性

(4) これまで、下記のように開催してまいりました。

- 第1回 6月 プロローグ～会員の在宅歯科診療事例
- 第2回 8月 医師から見る在宅歯科診療の意義 板橋区医師会在宅医会会長
- 第3回 10月 在宅歯科診療の実践 (実戦) 東京都東大和市開業 大川延也 先生
- 第4回 12月 「認知症の口を支える基礎知識」
東京都健康長寿医療センター研究所専門副部長 平野浩彦先生
- 第5回 3月 食べる支援, 生活を彩る摂食機能 ～摂食機能の着眼点と機能向上の手技, 考え方～
日本大学歯学部 摂食機能療法学講座 植田耕一郎 先生
- 第6回 4月 事例報告 ジャパンケア徳丸
「溶けないアイス風デザート」試食
ディスカッション「在宅医療・介護領域における歯科のポジション」
- 第7回 6月 「私の訪問歯科診療 ～これから始める歯科医師へ～」 横浜市開業 田中五郎先生
- 第8回 (本日)

(4-1) ご出席された回すべてに○をつけてください。

第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回

(4-2) あなたにとって有意義だった回すべてに○をつけてください。

第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回

(5) ご感想、ご意見、今後のテーマ・内容についてのご希望、ご要望、その他、
ご記入ください。

ありがとうございました。

在宅歯科診療ならびに摂食嚥下機能支援研修会

アンケート集計結果

(平成 26 年 8 月 25 日実施、回答総数 6 枚)

(1)、(2)、(3) 職種、年齢、性別

歯科医師 60 歳代 男性
歯科衛生士 30 歳代 女性
歯科助手 20 歳代 女性
ケアマネージャー 50 歳代 女性
理学療法士 40 歳代 男性
言語聴覚士 40 歳代 女性

(4-1) 出席回

第 1 回 3 名
第 2 回 4 名
第 3 回 4 名
第 4 回 3 名
第 5 回 3 名
第 6 回 3 名
第 7 回 2 名
第 8 回 6 名

(4-2) 有意義だった回

第 1 回 0 名
第 2 回 0 名
第 3 回 3 名
第 4 回 2 名
第 5 回 2 名
第 6 回 1 名
第 7 回 1 名
第 8 回 2 名

(5) 感想等

- ・ なかなか参加することができませんでしたが、安い費用で勉強させていただき、ありがとうございました。またぜひ続けていただきたいと思えます。

(50 歳代 ケアマネージャー)

- ・ 地域の歯科の方々の摂食嚥下への関心の高さに驚きました。(40 歳代 言語聴覚士)